



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2021/11/10 公開  
◆終末預言シリーズ (前兆編) ◆

### # 13 「世界統一政府実現へのシナリオ」

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。聖書は“患難時代という空前絶後の苦難の時代に向かっている。それが人類歴史の未来に待ち受けているのだ”ということを預言しています。

そこに行く前に、時代順番に並べることのできる前兆が 10 個ある、と今まで申し上げて来ました。

**6 番目の前兆**は、**世界統一政府が出現する**ということです。しかし、これが実現するためには、少なくとも 3 つの条件が整っていない限り、現実問題として不可能だと思うんですね。

**1 番目の条件) 世界に圧倒的影響力を持っている国の国力が急激に落ちて、国際社会でリーダーシップを取れる国が無くなること。**

その 1 つの原因として考えられるのは**携挙**である、と前回の動画で申し上げました。

携挙とは、やがてキリストが空中まで来て、世界中のクリスチャンたちを一気に引き上げることです。

携挙が起こるタイミングは誰にも分かりません。いつでも起こり得ることなので誰にも分からない。

携挙が起こると、クリスチャン人口を多く抱えている国ほど大きな影響を受けるでしょう。

とりわけ アメリカが大きな影響を受けるということでしたね。

しかしもう 1 つ、この終末時代の前に起こる世界的な大問題によって、世界の力関係がガラッと変わる大事件があるんです。**エゼキエル戦争**。これは、ロシアがイランやトルコなどいくつかの中東の大国を率いてイスラエルに攻め込んで行く戦争でした。その結果何が起こるのでしょうか。

#### エゼキエル書 39 章

4. おまえと、おまえのすべての部隊、おまえとともにいる国々の民は、イスラエルの山々に倒れ、わたしはおまえをあらゆる種類の猛禽や野獣の餌食とする。

5. おまえは野に倒れる。わたしがこれを語るからだ。一神である主のことばー。

おまえとはロシア。ロシアとロシアの全ての部隊、そして、ロシアと共にいる連合国の部隊はイスラエルで野に倒れ、猛禽や野獣の餌食になる。そして、こう書いてあるんです。

6. わたしはマゴグと、島々に安住している者たちに火を放つ。彼らは、わたしが主であることを知る。

倒れるのはイスラエルに侵略して来た兵士たちだけではなく、**マゴグと、島々に安住している者たちに火を放つ**。天から火が降ってくる。ロシアと、その同盟軍を送り込んだ本国の上に火が降ってくる。

ちょうどソドムとゴモラが崩壊する時 天からの火で焼き尽くされたように、**マゴグと、島々に安住している者たちに火が下る**。

**島々**は沿岸地域と訳すことも出来るんです。だから、ロシア・イラン・トルコ、特にその沿岸部に、天からの火が降って来て焼き尽くされ消滅してしまう、と書いてあるんですね。

エゼキエル戦争の結果、ロシア・イラン・トルコ、その他の同盟軍を送り込んだ国々、その本国が国家として終了するという預言です。

今中国は単独でアメリカと張り合うことはできません。そこで、ロシアと組んでアメリカを牽制してるんですが、中国にとって頼みの綱であるロシアが世界の地図から消滅する、という預言なんです。ロシアだけではない。中東に大きな影響力を持ち、それをどんどん増やしているイランやトルコが無くなる。そうなった後の国際情勢はどんなに大きな変化があり、影響を受けるでしょうか。

今私たちが見ている世界からいきなり世界統一政府に行く と考えると非現実的に見えますが、世界は今と全く別の事態を経過して、最終的に統一政府に至るのだと言うのです。世界の大国の中で、国際社会に影響力を維持できる国が無くなってしまふ。これによって、統一政府の実現性がグンと高くなるんですね。

## **2 番目の条件) 自分の国だけでは対応できない地球規模の問題が起こること。**

2 年前、中国武漢で新型コロナウイルス/COVID19 が蔓延し始めました。その時は武漢という地域限定だったのが、あっという間に世界中に広まり、今でもヨーロッパやアメリカでは感染者数が収まらない。爆発的感染が収まらないんですね。

どうしてこんなに広がってしまったのか？ 最初に地域限定で蔓延している時に、隠蔽して情報を明らかにしなかったからです。危機が起こった時、危機管理能力の無い国がそれを隠蔽することで、世界全体がこの問題に巻き込まれるハメに陥ってしまったんですね。

このように広がってしまった後は、新型コロナウイルスを退治するために 1 つの国がロックダウンしてもダメなんです。1 つの国が国境を封鎖してもダメですね。

世界的パンデミックで蔓延する伝染病の場合は、自分の国がいくら厳格なロックダウンをし、国境を封鎖し管理しようとしても、陸続きの隣の国がこの問題にルーズなら、感染が入って来るのはもう時間の問題です。

地球規模の問題については、1 つの国だけで対応しようとしても効果がない。全地球的な統一見解で、いちにのさんで同時に政策を施さないと効果がないんですね。今回中々収まらないのは、世界がバラバラであることが 1 つの要因だとも言えるでしょう。

パンデミックの問題だけではありません。例えば、ロシアが消滅/国家として終了してしまった場合、ロシア国内に膨大な核兵器が残りますね。これ、誰が管理しますか？

国家は無い。今まで国の核兵器を管理して来たのはロシアですが、国家の主体が無くなってしまった時に核兵器をほったらかしにしてたら、テロリストたちの手に渡るのは火を見るより明らかです。何らかの外部の力が核兵器を集めて廃棄させるなり、他の場所に移動して核兵器の格納庫を空にするなり、政治的権力・政治主体がない限り、この問題を解決することはできません。

将来どんなことが起こるのか。COVID が起こる前、こんな事が起こるとは誰も予測しなかったようにです。よ、今の段階で、これからどんな世界的・地球規模の問題が起こるのかは分かりません。

しかし、いずれにしても、1 つの国だけでは対応できないような大問題が地球規模で広がった時、人々は世界統一政府の登場を歓迎する素地が出来上がることになると思います。

むしろそれを望むようになる事態が生じる。これが世界統一政府実現に必要なことだと思います。

## **3 番目の条件) 世界統一政府の管理下にある全人類をコントロール・管理するテクノロジーが出現していること。**

現在 74 億人の人間が地球上に生活していると言われています。

20世紀までは、こんなに多くの人々を管理するなんて誰にもできないことでしたね。しかし、IT技術の発展によって実現可能になっています。

現在中国では、1人の独裁者が14億人の中国国民を完全管理することに成功してますね。イギリスのマスコミBBCの記者が、中国の監視体制がいかに進んでいるのかを試してみました。彼はわざと店先にあるパンを万引きします。全力疾走で逃げて、地下鉄に乗って逃げ通そうとするけど、7分後には捕まってきました。彼の情報は一元化されている。顔情報も何もかも分かっていて、どこに逃げているのかもスマホ情報で分かっていて、彼が地下鉄のホームに行った時には既に、捕まえるための警官隊がズラッと並んでいました。1人の人間が14億人を自由自在にコントロールし、管理体制に置くことが出来る。これが今の中国で実現しているんです。この14億人を74億人のスケールに拡大するということです。

ところで、2年前に日本で動物愛護法という法律が改正されたのをご存知でしょうか。動物虐待をやめさせるために厳罰化を行ったのですが、その時1つの不思議な法改正が紛れ込んでいました。犬や猫など全てのペットを販売するペットショップやブリーダーたちに、販売する前に、子猫子犬にマイクロチップを埋め込むことを義務付けたんです。これは法律によって義務付けられたことで、していないならば法律違反です。既にペットを飼っている飼い主たちには努力義務がありますが、努力の義務なので、それをしなかったという罰則はありません。しかし、新規に買った犬や猫にはマイクロチップが埋め込んであります。

マイクロチップは電子情報の倉庫と考えてください。動物の体に埋め込まれているマイクロチップの中には、飼い主の情報が入っています。つまり、この動物と飼い主を紐付けるためのものです。迷い犬になったり迷い猫になったり虐待された時、誰がこのペットのオーナーか割り出すための情報のタグがマイクロチップです。

動物の体に入れることができるのなら、人間の体に入れることもできるんじゃないでしょうか？ スマホでの管理なら、スマホを置いて行ったら管理できない。体に埋め込まれたらどうなるんでしょう？ 実際それをしている国があるんですね。スウェーデンです。スウェーデンという国は、世界で最初に心臓ペースメーカーを人体に埋め込んだ国ですよ。1958年だったと思いますが。だから、そういったことであまり抵抗ないのかもしれない。

人差し指と親指の間に、米粒よりも小さなマイクロチップを埋め込む。この手術をした人が数万人います。それをすると、例えばオフィスに入る時、ロックを解除するためのカードを家に忘れて来ました…！ 入れません！ それが、手をかざすだけでいいんです。車に乗る時も手をかざすだけでロック解除。手をかざすだけでエンジン始動。

皆さんは、スーパーまで行ったけど財布を忘れて、「あ、お金ない。カードもない。困った！」と、もう1度Uターンして面倒くさいことしたという経験がある方、いるかもしれませんが、埋め込まれていたらかざすだけでいいんです。コンサートに行こうと会場まで来たのに、チケット失くして入れなかったという人いませんか？ 電車に乗ろうとして乗車券失くして乗れなかった人いませんか？ マイクロチップ入れてたら、手をかざすだけでいいんですね。

そういう便利さに魅力を感じて、血も何も出ない、痛くも何にもない簡単な手術、米粒よりも小さな小さな、埃のようなマイクロチップを埋め込んでいるスウェーデンの人たちが数万人います。今どんどん増えてます。

今はマイクロチップの中の情報を取り出すことはできるけど、ここに情報を移すところにはまだ行かないし、GPSがまだ入っていないので、その人を追跡することはできない。だけど技術的には可能です。1人の人間が、1つの政府が、全人類を管理下に置くことを可能にするテクノロジーが、現在私たちの世界の中で既に存在しているんです。私たちはそういう時代に生かされている。統一政府が人類管理をするのに可能な時代に、今既に私たちは入っているということなんです。

ですから、聖書の預言は決して現実離れしたことではない。いや 昔に読んだら現実離れしたことだったんです。しかし今読むと、現実離れも何も、まるで、もうすぐ来る近未来のことを書いてある書物として読めるのではありませんか？ まさに、聖書は神の知恵による正確な預言の書物なんですね。

次回は、患難時代の前に時代順番に必ず起こる7番目の前兆についてご紹介したいと思います。

また楽しみに見てくださったら嬉しく思います。

ずいぶん寒くなりました。皆さん、お風邪などひかないようにご自愛ください。

また「ごうちゃんねる」でお目にかかりたいと思います。それまで皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。